リニアシリーズ

デスク WU-D138 組立説明書(Ⅰ)

☆くろがね学習家具をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用の前に、「組立説明書」と「取扱説明書」をお読みいただき、正しくお使い下さい。
☆お読みになった後は、必ず大切に保存し、必要な時にお読み下さい。

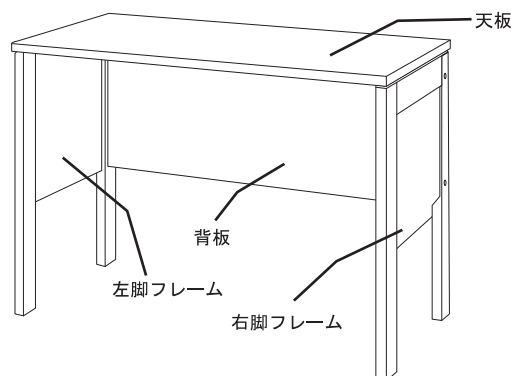
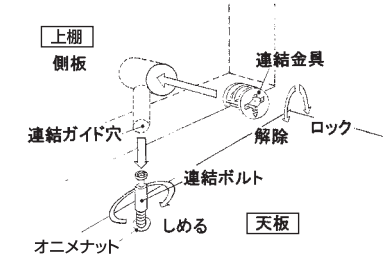
リニアシリーズは、アルダー材を使った自然塗装仕上げです。
・天然木を使用している為、パーツ1点ごとに木柄や色合いが異なることがあります。
・天然木材は節や入り皮、黒色・褐色の節状の柄が現れることがあります。
・天然木は極端な乾燥や湿気、温度変化により、変形したり割れることがあります。冷暖房機器の冷気や熱気が直接あたる場所、強い直射日光の当たる場所では、ご注意下さい。

■付属部品

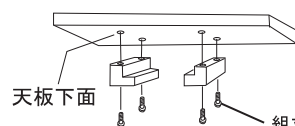
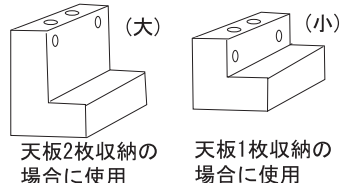
※組立ネジ(M6×30)4本は、キャビネット天板受けと同梱包しています。
5本中の1本は、ペアデスクを組立の際に使用するものです。

部品	数量	部品	数量
連結金具	7個	連結ボルト	7本
組立ネジ(M6×60)	4本	丸ナット	4個
組立ネジ(M6×35)	4本	※ 組立ネジ(M6×30)	5本

■各部の名称

※この図は各部の名称の説明図として画いています。
お買い求めの製品とは仕様が異なる場合があります。

※付属のキャビネット天板受けについて

天板2枚収納の場合に使用

天板1枚収納の場合に使用

※付属のキャビネット天板受けは天板下面の2箇所に取付けて下さい。

※こちらのネジは、キャビネット天板受けと同梱包しています。

◎連結ボルト・連結金具について

⚠注意

●連結ボルトは確実に締め付け、連結金具は確実にロックする。(締め付け・ロックが確実でないと、ケガ・破損の原因)

●組み立てネジは確実に締め付ける。(締め付けが確実でないと、ケガ・破損の原因)

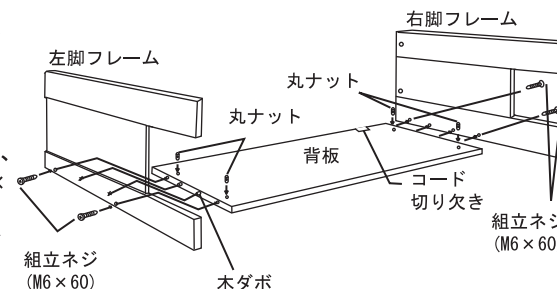
【1】本体の組み立てかた

●本体を組み立てる際、図のように背板を下に床板に寝かせた状態で組み立てて下さい。

1-1 脚フレームと背板の組み立て

①片側の脚フレームと背板を組み立てます。脚フレームのガイド穴に背板のダボを差し込みます。背板はコード切り欠きが右上側になる様にして下さい。

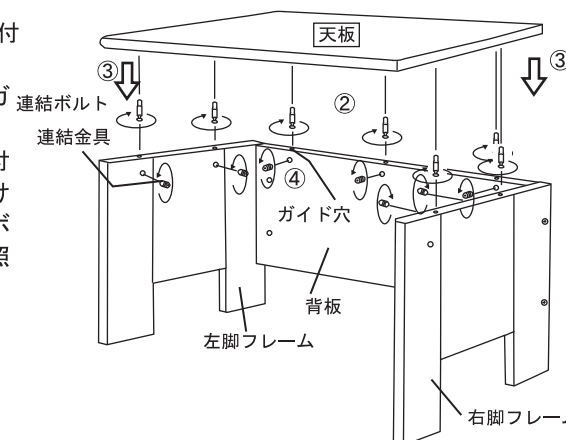
②背板の前方より丸ナットを取り付け、脚フレーム外側より、組立ネジ(M6×60)2本で連結します。

③もう一方のガイド穴に背板の木ダボを差し込み、②と同様に丸ナットと組立ネジ(M6×60)で脚フレームと背板を連結します。

1-2 天板を取付けます

①組み立てた脚フレーム、背板を起こします。

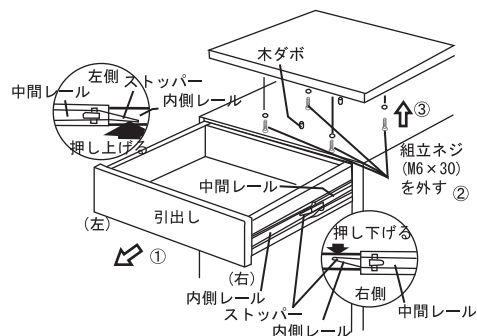
②天板裏面に連結ボルトを7本を取り付けます。(左右各2箇所、後部3箇所)

③脚フレーム・背板の連結ボルト用ガイド穴に合わせ、天板を載せます。

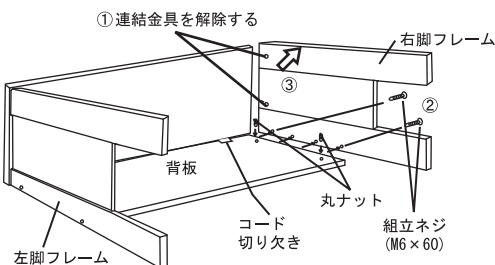
④脚フレーム・背板の連結金具取り付け穴に連結金具を差し込み締め付けます。取り付け方法は、「◎連結ボルト・連結金具について」をご参照下さい。

【2】キャビネット連結の組み立て方法

デスク(WU-D138)は、別売りのキャビネット(3段引出し)「WU-C40」、キャビネット(扉付き)「WU-T40」、キャビネット(オープン)「WU-S40」を取り付けて使用できます。以下の要領で取り付けて下さい。ペアデスク組立方法は、組立説明書(Ⅱ)をご参照下さい。
※本説明は右袖机の場合の組立方法です。

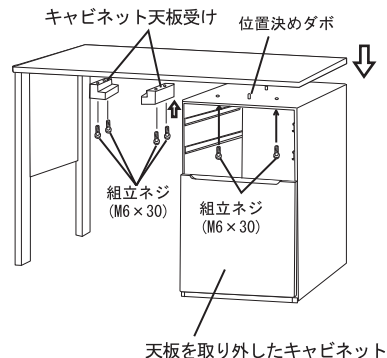
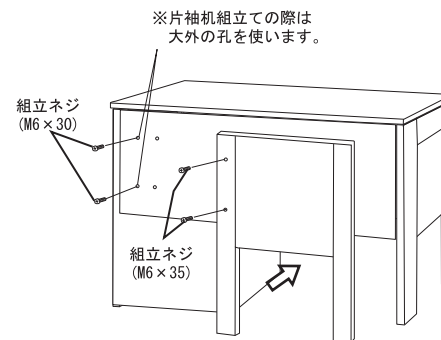
2-1　キャビネット天板を取り外します

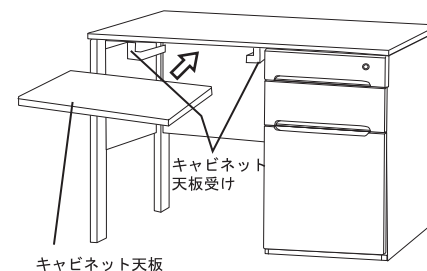
①WU-C40、WU-T40を取り付ける場合は、引出しを抜き取り、天板裏面の組立ネジ(M6×30)4本を取り外します。
引出しの抜き方は、レール内にあるストッパーを、左側は押上げ、右側は押し下げながら、引き出しを抜くと、抜けます。

2-2　本体の脚フレームを取り外します

キャビネットと設置する側の脚を取り外して下さい。本体を図のように背板を下に床に寝かせた状態で脚フレームを取り外して下さい。

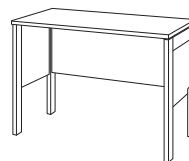
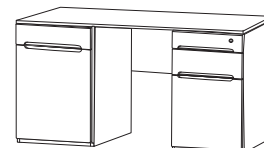
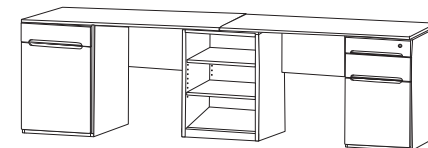
①右脚の上部2箇所の連結金具を解除する方向に回して下さい。
(「◎連結ボルト・連結金具について」)をご参照下さい。

②右脚フレームより止まっている背板組立ネジ(M6×60)2本を外して「脚フレーム」を外します。

③キャビネット天板受けを、組立ネジ(M6×30)各2本で本体の天板に取り付けて下さい。

④2-1で天板を外したキャビネットに本体を載せます。位置決めダボを本体のダボ穴に合わせて、キャビネット内側より組立ネジ(M6×35)にて前方2箇所を固定します。
※組立ネジ(M6×30)は、2-1で取り外した4本、付属部品として付いている5本、計9本より使用して組立して下さい。
※ペアデスクでの使用の場合はキャビネット天板中央の位置決めダボは使用しません。(ペアデスクは、「■選べるスタイル」ご参照下さい。)

⑤背板裏面より組立ネジ(M6×30)にてキャビネット背板2箇所を固定します。
※背板裏面の孔は、大外の孔を使って組立てて下さい。

⑥取り外した脚フレームを本体の背板に、組立ネジ(M6×35)2本で取り付けます。脚フレーム取り付けの際、コンセントの電源コードをコード切欠きより逃がし、挟み込まないよう注意して取り付けて下さい。

⑦キャビネットより取り外したキャビネット天板は、本体前よりキャビネット天板受けに横向きに差し込み、保管して下さい。

※左袖机に組み立てる場合も同じ要領で行って下さい。

■選べるスタイル

※WU-138は別売りのキャビネットを利用して、下記スタイルの組み換えが可能です。

くろがね　リニアシリーズ

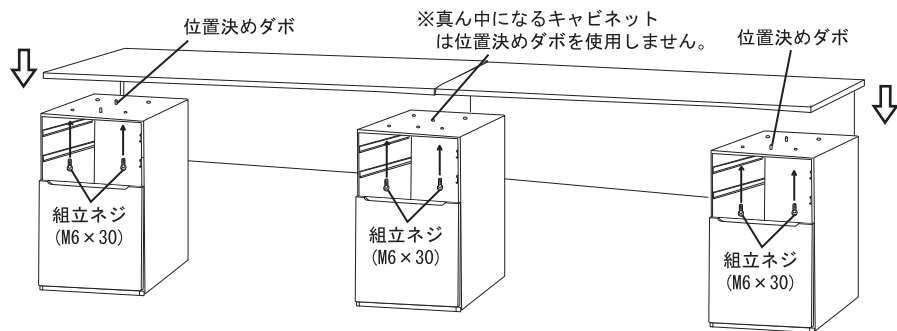
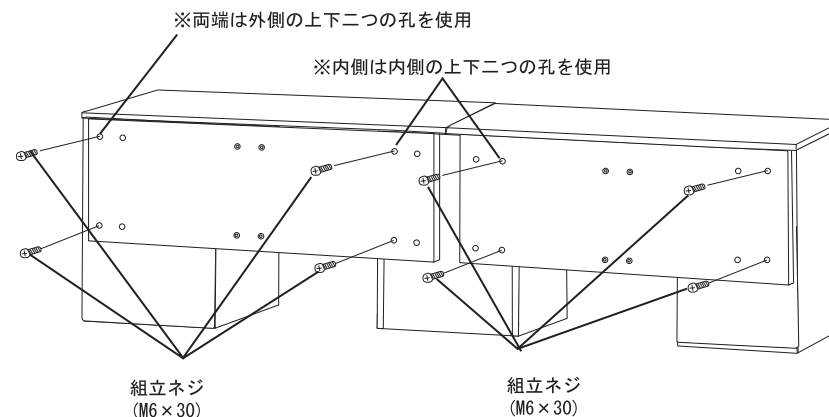
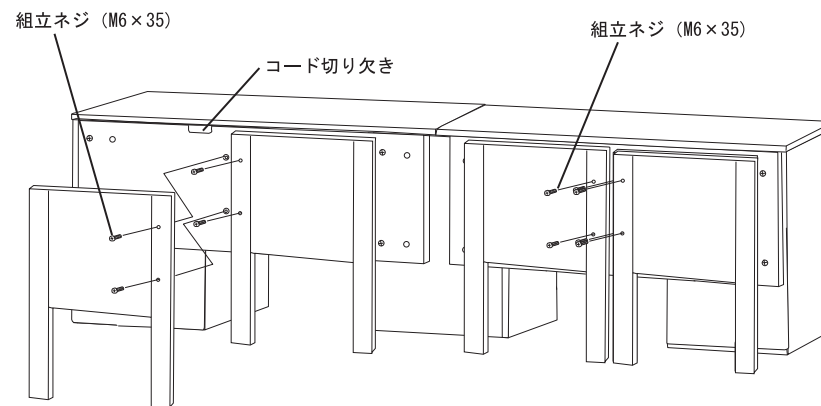
デスク WU-D138 組立説明書(Ⅱ)

【3】ペアデスクの組立方法

キャビネット天板の取り外し方、本体脚フレームの取り外し方、またキャビネット天板受けの取付け方法は、「【2】キャビネット連結の組み立て方法」に書いてあります。
詳しくは、組立説明書(Ⅰ)の「【2】キャビネット連結の組み立て方法」をご参照下さい。

3-1　本体をキャビネットに載せます

①両端になるキャビネットにある位置決めダボを本体のダボ穴に合わせて、キャビネット内側より組立ネジ(M6×30)にて前方2箇所を固定します。
真ん中になるキャビネットは、位置決めダボを使用せず、2台の天板をそれぞれ半分ずつ載せて、キャビネット内側より組立ネジ(M6×30)にて前方2箇所を固定します。

※組立ネジ(M6×30)は、それぞれのキャビネットの天板を外した時の12本、付属部品としてついている5本×2台分計10本、合計22本より使用して組立して下さい。

②背板裏面より、それぞれのキャビネットと固定します。
両端にあるキャビネットには、本体背板の外側にある孔、上下2箇所ずつ固定して下さい。
（各2箇所ずつ、合計4箇所）
真ん中になるキャビネットは、本体背板の内側にある孔、合計4箇所、固定して下さい。
それぞれ使用するネジは、①と同様にすべて(M6×30) のネジです。

②取り外した脚フレームをそれぞれの本体背板に、組立ネジ(M6×35)取り付けの各2本ずつで取り付けます。
脚フレーム取り付けの際、コード切り欠きより、電源コードを内側に逃がして、挟み込まないよう注意して、脚フレームをそれぞれの本体背板に取り付けて下さい。

③組立説明書(Ⅰ)にある「【2】キャビネット連結の組み立て方法」をご参照の上、キャビネット天板受けを取り付け、キャビネット天板を収納して下さい。
以上で、ペアデスクの組み立ては完了です。

（2014-A）

取扱説明書（保証書付）
オイル塗装仕上げ

この注意事項は、危害や損害を未然に防ぎ、学習机を安全に正しくお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告	この表示は無視して、誤った取扱をすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
注意	この表示を無視して誤った取扱をすると、傷害を負う危険が想定される場合及び、物的損害の発生が想定される内容を示します。

［絵表示］

	この記号は、してはいけない行為（禁止事項）を示します。		この記号は必ず実行してほしい行為及び注意点を示します。

正しい使いかた

［1］引出の抜きかた・入れかた

(1) 三段引レール

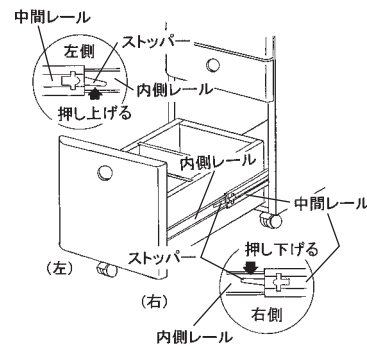
■抜きかた

①引出を手前いっぱいまで引き出します。

②右側のストッパーを下方向に押し下げ、左側のストッパーを上方向に押し上げながら引出を更に引き抜くと中間レールから外れます。

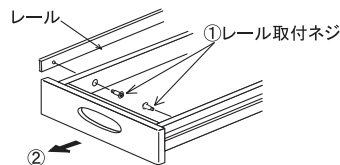
■入れかた

①中間レールを手前まで引き出し、内側レールを左右同時に中間レールに差し込みます。

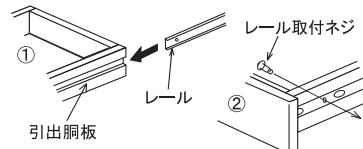
②引出を奥まで完全に押し込みます。

(2) 単式スチールレール

■抜きかた

①引出の手前内側にあるレール取付ネジ（左右）を、プラスドライバーで外します。

②引出をまっすぐに手前に引き抜きます。

■入れ方

①引出胴板の溝に合わせてレールを差し込みます。

②引出の手前胴板のレール取付用孔にレールのネジ位置を合わせ、内側より取付ネジで左右締め付けます。

くろがね 学習家具

品　番			
お客様	お名前 ご住所〒　　－ 電話番号（　　）　　－		
お買上日	年　　月　　日		
保証期間	外観・表面仕上げ	塗装及び樹脂部品の変・褪色 クロスの摩耗	1年
	機構部・可動部	引出、スライド機構、昇降機構の故障	2年
	構造体	強度・構造体に関わる破損	3年
販売店名・住所・電話番号			

※くろがね学習机をお買い上げいただきありがとうございます。この製品はくろがね学習机ご愛用の皆様に安心してご使用いただくために厳密なる品質管理及び検査を経てお届け致しております。お客様の正常な使用状態で万一故障した場合には本保証書の下側に記載した保証規定により修理致します。

株式会社 くろがね工作所
SOHO営業本部
〒572-0025
大阪府寝屋川市石津元町10-12
TEL（072）828-1011（代）

（保証規定）
1. 保証期間内（お買い上げの日より3年間）に、正常なる使用状態において、万一故障した場合には無料で修理致します。修理はお買い上げの販売店に本保証書を添えてご依頼ください。
2. 次のような場合には保証期間内でも有償修理になります。
   イ. お買い上げ後の輸送・移動・落下等による故障
   ロ. 取扱説明書の注意事項をお守りいただけなかった原因による故障
   ハ. 消耗部品の消耗又はそれによる故障
   ニ. 火災・塩害・異常電圧・地震・雷・風水害・その他天災地変等による故障
   ホ. お買い求めの販売店もしくは当社以外での修理改造等による故障
   ヘ. 離島又は離島に準ずる遠隔地への出張修理を行う場合の出張に要する実費
   ト. 追加部品（鍵・棚板・フック・引き手等）又は、お客様破損による追加部材等のご要望は有償となります。
   チ. 保証書の提示がない場合
3. 運賃等の諸費用はお客様にご負担していただく場合があります。
4. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。
5. 本書は再発行いたしませんので、大切に保存してください。
6. ご使用前に、取扱説明書をご一読ください。
7. 補修用部品の最低保有期間は製造打ち切り後5年間です。

（ご注意）保証書の所定事項の記入がない場合は、本書と共にお買い求め先の領収書を保存してください。

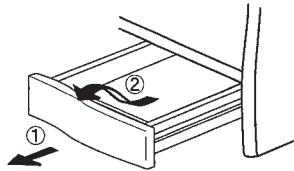
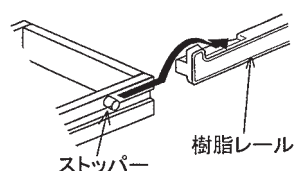
お客様窓口

● この製品についてのご意見・ご質問は下記へお申しつけください。

株式会社 くろがね工作所　SOHO営業本部・商品部
〒572-0025　大阪府寝屋川市石津元町10-12
TEL（072）828-1011（代）

※住所、電話番号等は予告なしに変更することがありますのでご了承ください。

(3) 樹脂レール（上棚小引出）

■抜きかた
①ストッパーが当たるまで引き出します。
②引出の手前を軽く持ち上げて引き抜きます。

■入れ方
引出のストッパーをレールのストッパーの奥にのせ、引出を差し込みます。

[2] 天アップキャビネット

☆操作方法は「組立説明書」をお読みください。

禁 止	キャビネット天板には耐荷重を超える物をのせない。耐荷重等分布50Kgまで。（ケガ・破損の原因）	禁 止	天板を上下させる時は、天板上に物を絶対にのせない。（ケガ・破損の原因）
禁 止	天板や引出の上に乗ったり、座ったりしない。（ケガ・破損の原因）		キャビネットを本体に収納する時又は、移動させる時は必ず天板を一番下まで下げてから行う。（ケガ・破損の原因）

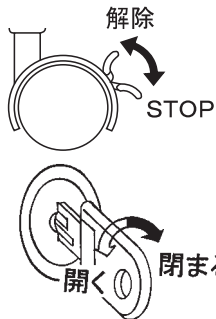
[3] キャスターストッパー

●キャビネットを定位置で使用される場合は、ストッパーをかけて使用してください。
移動させる場合は、必ずストッパーを解除してから移動させてください。

［ストッパーの操作］

⚠ 注意

移動キャビネットのストッパーをかけたまま、無理に移動させない。
（床面に傷を付ける原因）

ストッパー確認

[4] 錠前

［錠前の操作］
●鍵を差し込んで右にまわすと閉まります。
●鍵を差し込んで左にまわすと開きます。

⚠ 注意

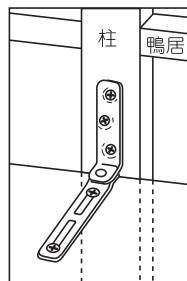
鍵は共通のため盗難防止の保証はできません

[5] 転倒防止金具の取り付けかた（※転倒防止金具はハイタイプについています）

①金具の片側を書棚（上棚）の背板上面に取り付けてください。
②金具のもう一方を柱・鴨居などしっかりとした木部に付属の木ネジでとめてください。

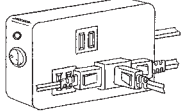
⚠ 注意

金具を書棚に取り付ける際は、下穴をあけてから付属の木ネジで固定してください。
（下孔をあけないと破損の原因）

下穴をあける

[6] 照明器具

☆照明器具の取扱は、灯具セットに入っています。別紙「取扱説明書」をお読みください。

[7] コンセント

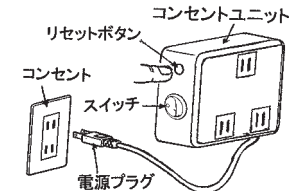
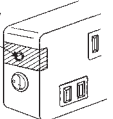
☆コンセントの取扱は、灯具セットに入っています。別紙「取扱説明書」をお読みください。

コンセントに容量以上の電気製品を接続しない。（使用合計1400Wまで）

禁 止

たこ足配線はしない。（ブレーカー作動の原因）

禁 止

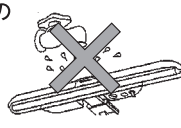
■ブレーカーについて
ブレーカーは容量以上の電流が流れると電流を遮断する安全装置です。
ブレーカーが作動しますとリセットボタンが突出します。

［ブレーカーの操作］
ブレーカーが作動した時は、電源プラグをコンセントから抜きます。
●一分以上時間をおいて、リセットボタンを押し込みます。再び電源プラグをコンセントにさしこみますと、元の通電状態に復帰します。

⚠ 警告

リセットボタンにテープを貼り付ける等、押し込まれたままでご使用はしない。

[8] こんな時は 修理を依頼される前に、次の点検をしてください。

こんな時は	調べる所	処　置
引出の開閉が固い。	机が水平な床面に据え付けてありますか。	水平な床面に据え付けてください。
	レール取り付けネジが外れていませんか。	レール取り付けネジを締め付けてください。
	レールが途中で止まっていませんか。	引出を一度最後まで引き出し、再度奥まで押し込んでください。
移動キャビネットが動きにくい。	キャスターのストッパーが解除されていますか。	キャスターのストッパーを解除してください。
照明器具が点灯しない	電源プラグがコンセントの照明器具専用コンセントまたは家庭用コンセントに接続を確かめる。	電源プラグを確実に接続します。
	コンセントのブレーカーが作動していませんか。	コンセントのリセットボタンを押込み通電状態にしてください。
	電源スイッチが切「○」になっていませんか。	コンセントの電源スイッチを「－」にしてください。
	照明器具スイッチが切「○」になっていませんか。	照明器具の電源スイッチを「－」にしてください。
煙が出たり、変なにおいがするなど異常が生じたとき。	すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、異常事態がおさまった事を確認する。	お買上の販売店に修理をご依頼ください。

安全上のご注意【据え付けるとき】

警告 禁止

机・書棚を設置する時は、机・書棚の下に電源コードを挟まない。
（火災の原因）

注意 禁止

屋外や直射日光のあたる所、冷暖房器具の近くに置かない
（火災・変形・変色・変質の原因）

注意 水平な床面に置く

水平な面に置く。
（引出の開閉がしにくくなったり、歪みの原因）

注意 禁止

湿気の多い場所には設置しない。
（カビ発生の原因）

注意

書棚は壁や柱に沿わせて設置し、転倒防止金具でしっかりした材質の場所に固定する。
（転倒によるケガ・破損の原因）

注意

組立ネジ・連結金具は確実に、しっかりと固定する。
（ケガ・破損の原因）

注意

組立作業や机を移動する時は、2人以上で行う。
（1人作業はケガ・腰痛・破損の原因）

注意

製品を移動する時は、机の上、書棚に物がない状態にし、灯具・コンセントは取り外す。
（ケガ・破損の原因）

注意

製品を移動する時は、引きずらないで持ち上げて移動させる。
（床にキズをつけたり破損の原因）

注意 禁止

テレビ・ラジオ・電話機などの近くに置かない。
（雑音の原因）

注意 禁止

灯具は不安定な場所（かかりしろが少ない・丸棒・横向き取り付けなど）や弱い場所、燃えやすい物（寝具・カーテン・洗濯物など）の近くに設置しない。
（器具の転倒・落下による火災・ケガの原因）

注意 禁止

電源コードをステープルや釘などで固定しない。
（感電やショートによる発火の原因）

安全上のご注意【使用するとき】

警告 禁止

定格15A以上のコンセントを単独で使用する。
たこ足配線しない。
（火災の原因）

警告 ほこりは、乾いた布等で拭き取る事

電源プラグの刃及び刃の取り付け面にホコリを付着させない。
（火災の原因）

警告 禁止

コードの加工及び無理な引っ張り・ねじり・曲げ・束ねなどのコードを破損させる行為はしない。
（発熱や損傷の原因）

警告 禁止

水気や湿気の多い場所では使用しない。
水場での使用禁止。
（火災・感電・漏電の原因）

注意 禁止

光源（LED）を直視しないでください。

注意 禁止

傷んだコードや電源プラグ。緩んだコンセントは使用しない。
（コードが傷み、火災や感電の原因）

注意 禁止

コードの上に重いものをのせたり、挟みこんだりしない。
（感電・火災の原因）

注意 禁止

AC100V以外で使わない。
（感電・火災の原因）

注意

プラグはAC100Vのコンセントに確実にさしこむ。
（感電・火災の原因）

注意 禁止

コンセントに容量以上の電気製品を接続しない。合計1400Wまで。
（ブレーカー作動の原因）

注意

電源プラグをコンセントから抜き差しする時は、必ず電源プラグを持つ。
（コード破損による感電・火災の原因）

注意

長期間ご使用にならない時は、必ず電源プラグをコンセントから抜く。
（絶縁劣化による感電・火災の原因）

注意 禁止

コンセントにプラグ以外のものを差し込まない。
（感電・故障の原因）

注意 禁止

電気器具に水をこぼしたり濡れた手で触れない。
（感電の原因）

注意 禁止

照明器具に布や紙など燃えやすいもので覆ったり、かぶせたりしない。
（火災の原因）

 注意 禁止

電気器具の改造や分解は絶対にしない。
（感電・火災・焼損の原因）

注意 禁止

照明器具を動かす時、無理な力を加えない。
（破損によるケガの原因）

注意 禁止

照明器具の隙間に金属類や燃えやすい異物を絶対に差し込まない。
（火災・感電の原因）

注意 禁止

灯具に可燃性スプレーなどかけない。
（火災の原因）

注意

電気器具から煙りが出たり、異臭がするなど異常が生じた時はすぐに電源スイッチを切り電源プラグをコンセントから抜き、異常がおさまったことを確認して、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。（感電・火災の原因）

⚠ 注意
換気する

ホルマリン臭のする時は充分に換気を行う。
※木材の接着材にはホルムアルデヒドが含まれています。
（ホルマリン臭がきついと目が痛くなったり、肌の弱い人はアレルギー症状をおこす原因）

⚠ 注意
禁止

商品に貼ってある警告表示ラベルまたは使用説明ラベルは絶対に剥がさない。
（誤った使いかたによるケガ・破損の原因）

⚠ 注意
禁止

可動部の隙間に手を入れない。
（ケガ・破損の原因）

⚠ 注意
禁止

組立ネジが緩んだまま使用しない。
※年2回を目安に点検し、組立ネジを締め直してください。
（ケガ・破損の原因）

⚠ 注意
禁止

乱暴な取り扱いや、用途以外での使用はしない。
（ケガ・破損の原因）

⚠ 注意
禁止

机や移動キャビネットの上に乗ったり、座ったりしない。
（転倒・ケガ・破損の原因）

⚠ 注意
禁止

天板の上に耐荷重を超えるものを載せない。
※耐荷重　100kgまで
（ケガ・破損の原因）

⚠ 注意
禁止

引出の中に耐荷重を超えるものを入れない。
※耐荷重　下段引出　等分布10kgまで
　　　　　その他引出　等分布　5kgまで
（ケガ・破損の原因）

⚠ 注意
禁止

棚板の上に耐荷重を超えるもをのせない。
※耐荷重　自在棚　15kg
（ケガ・破損の原因）

⚠ 注意
禁止

フックに耐荷重を超えるものをのせない。
※耐荷重　10kg
（ケガ・破損の原因）

⚠ 注意
禁止

キャビネット天板の上に耐荷重を超えるものをのせない。
※耐荷重　等分布　50kg
（ケガ・破損の原因）

⚠ 注意
禁止

キャビネット天板の端に力を加えない。
（転倒によるケガ・破損の原因）

⚠ 注意
禁止

キャビネットの複数の引出を同時に引き出さない。
（転倒によるケガ・破損の原因）

⚠ 注意
禁止

引出を引き出した状態で上から力を加えない。
（転倒によるケガ・破損の原因）

⚠ 注意
禁止

引出は強く引き出さない。
（引出ストッパー破損・引出落下によるケガ・破損の原因）

⚠ 注意

小さな部品の取り扱いに注意する。
（小さなお子様が飲み込む危険）

⚠ 注意
禁止

シール・セロハンテープなどを貼り付けない。
（表面はがれの原因）

⚠ 注意
禁止

加熱したやかんなど熱いものを直接製品の上に置かない。
（変色・変形の原因）

⚠ 注意
禁止

製品の上で直接硬いボールペンなどを使用しない。
（キズの原因）

安全上のご注意【お手入れする時】

お手入れする時

自然の風合いを生かした塗装の為、表面は硬質塗幕を形成しておりません。表面がデリケートなため、お手入れする際は右記の内容をご注意ください。

- ●ふだんのお手入れは水拭きを避け、柔らかい布で拭く程度にする。
- ●化学雑巾や中性洗剤は使用しない。（変色の原因）
- ●殺虫剤を吹きつけたり、シンナー、ベンジン等で拭いたりしない。（変色の原因）
- ●水やソース、醤油などをこぼした場合は、直ちにふきとる。（変色、シミの原因）

化学雑巾、中性洗剤
シンナー、ベンジン
使用禁止

⚠ 注意
電源プラグをコンセントから抜く

照明器具・コンセントを清掃する時は、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。
（感電の原因）

⚠ 注意
禁止

照明器具は点灯中や消灯直後の電源、またはその周辺を触らない。
（熱によるやけどの原因）

⚠ 注意
禁止

照明器具・コンセントのお手入れの際は、水洗いはしない。
（火災・感電の原因）

安全上のご注意【廃棄するとき】

⚠ 警告
廃棄物処理のため使用者側での解体及び加熱処理による消却は危険が伴います。
塩化ビニルや樹脂製品を燃やすと有毒ガスが発生する恐れがあります。
廃棄処分は、許可を受けた産業廃棄物業者か、自治体が実施している廃品回収（粗大ゴミ）などを利用する。